

令和4年度 第3学年 授業改善推進プラン

| | 伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より) | 改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て) |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の読解力、話を聞いて理解する。 様々な分野の本に親しむ。 新出漢字の確実な定着。 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を確かめながら読み進めたり、話したりしていく。 文章に出てきた言葉の同義語や類義語にも触れたり、辞書を活用しながら学習したりして、語彙を増やしていく。 言葉や表現に着目させながら、物語の情景や主人公の心情を考えさせる学習活動を行う。 教科書の学習に合わせた図書の本を紹介したり司書教諭におすすめの本を聞いたりすることで、読書分野を広げられるようにする。 既習漢字を使えていないときは、その都度、書き直しをさせるなどして、漢字で書く習慣をつけさせる。「東京ベーシックドリル」も用いて漢字や語彙の定着を図る。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な小平市について、実体験や経験を踏まえ、意欲的に学ぶ。 学習問題に対して、既習事項や生活体験を根拠に予想したり、見通しをもったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的に授業を進める。学習したことを生活の中でどう生かされているのか実感できるような授業を展開する。 ねらいに沿った資料を提示し、児童の理解を図る。 各小単元において、児童に習得させなければならない知識を捉え、「何を」調べさせ、「何を」考えさせるかを明らかにする。 他教科でも、自分の考えや意見などを書けるよう日頃から書く力を育てていく。また、例を見せるなどどんなものを書くのかなど理解しやすいようにする。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な技能の確実な習熟。 既習事項を活用して応用問題を解く。 問題解決に積極的に取り組み、いくつもの考え方を図・式・文章で表現する。 式の意味や考え方を自分なりに説明できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝学習の時間を活用し、「東京ベーシックドリル」を用いて個に応じた技能の習熟を図る。 児童が主体的に考えたいくなるような課題設定や導入場面の工夫をし、意欲的に取り組めるようにする。(ICT教材等や具体物も効果的に活用する。) 児童が互いの解決方法や考えにすすんで関わり「共有」できるよう発問を工夫して話し合い場面の充実を図る。また同時に自分や他の児童の考え方もノートに書く、ノートづくりの指導をすすめていく。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 安全面や正確な測定の仕方などを常に意識できる。 結果と予想を比較し、共通点や差異点をもとに考察する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを明確にし、それを達成するにはどんな実験をしたらよいか考えさせる。また、考える中で安全面や正確性を考慮できるようにする。 考察の際、差異点や共通点を全体で共有してから考えさせ、より具体的に記述できるようにする。 見る、触れる活動を多く取り入れることで、興味・関心をより深められるようにする。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱や器楽に関心をもち、活動を楽しむ。 発声に気を付けて歌う。 音楽を聴いて自分の思いを表現する。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱は歌詞に込められた思いや曲の構成を考えるなど、歌い方の工夫をしていく。 ICTの活用で、リコーダー、楽器の練習の仕方を工夫する。いろいろな種類の楽器で合奏し、音を合わせることに慣れるようにする。 鑑賞について、聴く機会を増やし、思ったことを表すことに慣れていくようにする。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> 興味をもって活動に取り組む。 時間を意識して、作業や片付けを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 片付けや作業の手順を板書で示し、目安となる時間も併せて伝えることで、見通しをもちながら活動できるようにする。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学習に取り組む。 チームとして作戦を考えたり、協力したりしながら取り組む。 勝敗だけでなく、チームとしての役割や、相手を讃えることを大切にする。 うまくいかなくても諦めずに最後まで取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手な児童でも、達成感や充実感を味わうことができるような授業を行う。(初回からの記録の伸びや工夫して取り組んだ態度などを評価する。) 友達と協力してプレーすることの面白さを感じられるよう、積極的によい連携プレーや行動を紹介していく。 友達と見合ったり、アドバイスをし合ったりする活動を取り入れていく。 |

| | | |
|-------------------|---|---|
| <p>外国語 活動</p> | <p>・英語を使って進んでコミュニケーションをとる。</p> | <p>・歌やゲーム、簡単な会話の場面など、外国語を使って楽しく話す場面を多く作れるようにする。 ・児童対児童、児童対教員など、話す相手も変えながら、たくさん話す機会を作る。</p> |
| <p>道徳</p> | <p>・それぞれの課題について自分事としてとらえる。 ・自分の考えを伝え合い、深める。</p> | <p>・役割演技(ロールプレイング)や友達との交流などを取り入れた授業を行い、自分の考えをもち、表現できるようにする。 ・学習したことが実生活でも生かせるよう、その時々の子どもの実態に合った教材選定をする。</p> |